



息長小学校だより

息長っ子



令和6年11月25日

第8号

文責 川崎

<https://okinaga-e-maibara.edumap.jp/>



祝 息長小学校 創立150周年

11月2日に創立150周年記念式典を開催しました。150年の歴史を忍び、息長小学校と地域のよりよき未来を願いながら、この大切な節目を皆様とお祝いできましたことは、まことに光栄なことです。式典は10秒のカウントダウン終了と同時に、創立150周年記念曲「150(イチ・ゴー・レー)のうた」からスタートしました。子どもたちの歌声は爽快で元気いっぱい。創立150周年をお祝いするにふさわしいオープニングとなりました。そして、劇団 民話芸術座のみなさんが「雨降り小僧」を好演くださり、式典はさらに盛り上がりました。このお芝居は手塚治虫の「雨降り小僧」を原作としていて、『友情と約束』テーマにしたお話でした。一人ぼっちな寂しさ、友だちができた喜び、仲間とともに歩む楽しさや安心感、約束を守ることの難しさ、守れなかった時の罪悪感、そして心が通った時の喜び…。子どもたちは、様々な場面で主人公の思いに共感しながら観劇できたのではないかと思います。



さて、この式典で、子どもたちには2つのことを伝えました。「感謝」と「つなぐ」です。

150年続いてきた息長小学校では、いつの時代も今のみなさんと同じように、学習をしたり、友だちと遊んだり学校生活を送る子どもたちがいました。運動会や校外学習、すもう大会もあり、記録を見ていると滋賀県のバレーボール大会に出場して優勝したという年もありました。時には意見が合わなかったり、頑張ってもうまくいかなかったりすることがあったと思いますが、先生と一緒にみんなで乗り越え、輝かしい校風をつくり上げていただきました。そして、いつの時代も、温かく子どもたちを見守り応援して下さった保護者や地域の方がおられました。息長小学校は、未来の息長小学校への思いを寄せて努力して下さった方々のお陰で存在しているのです。150年間の人々の思いを受けて、私たちは今、ここに存在しているのです。この式典は、150年間息長小学校を大切にしてくださった多くの皆様に心から感謝する場であると思っています。ありがとうございます。

もう一つ大切なことがあります。それは、これまでつないでくださった息長小学校への思いを受け取り、次へつないでいくということです。いうならば、未来へのバトンタッチの式でもあります。今日、ここにいる皆さん全員でバトンをしっかりと受け継ぎました。

さあ、これから先の時代を切り拓いていくのは、皆さんの役目です。自分のよいところ、友だちのよいところを見つけ高め合い、息長小学校で学んでいることに誇りをもって、もっとすてきな息長小学校になるよう、力を合わせていきましょう。

(創立150周年式典 校長あいさつより)

子どもたちは150年間に感謝し、そして、未来につないでいこうと決意を心に進んでくれることと思います。今から50年先の未来に思いを馳せてみますと、息長小学校は創立200周年です。今の子どもたちが築き上げた自分たちの時代を、幸せに生きていることを願ってやみません。最後になりましたが、開催にあたりまして、後援会長様、同窓会長様、学校運営協議会会長様をはじめ委員の皆様にご臨席賜りましたこと、PTA 役員の皆様には開催にあたりご協力いただきましたこと、心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。

150 SECS

作詞：樋口善一郎
作曲：岩脇 明美

①
おおきな夢を 両手につかみ
きぼうに向かって 走っているよ
ながい歴史を ふりかえるとき
が がんばりぬいた あの日はあった
イチ・ゴー・レイ!
イチ・ゴー・レイ!
未来へジャンプだ おめでとう!!

②
おもい出いっぱい 心につめて
きょうを迎える このよるこびを
ながまともにお祝いしよう
ガッツポーズだ さあ前進だ
イチ・ゴー・レイ!
イチ・ゴー・レイ!
未来へジャンプだ おめでとう!!